

アジア最大級の大型クルーズ船

「オーバーション・オブ・ザ・シーズ」が北九州港に初寄港しました！

平成29年5月21日（日）朝10時、ひびきコンテナターミナルに北九州港初の16万トン級の大型クルーズ船「オーバーション・オブ・ザ・シーズ」が寄港しました。乗客とクルー合わせて約6,000人を乗せたクルーズ船が着岸すると、お出迎えをしていた関係者はその大きさに圧倒されていました。入港後、約4,500名の乗客たちは112台の観光バスに分乗し、小倉城や門司港レトロなど市内観光とショッピングに出かけました。岸壁では、北九州市長や関係者が出席した歓迎式典を開催し、北九州市からは小倉城が描かれたスチールアートの記念盾と花束を贈呈。ロイ船長からは、記念盾とクリスタルの置物の返礼があり、その後VIP向けの船内ツアーが行われました。

また、クルー向けに企画したおもてなしオプションツアーには約120人が参加し、高塔山や若松恵比須神社、黒崎よさこい祭りなどで散策を楽しみました。黒崎よさこい祭りでは、屋台フードが人気を集め、日本のソウルフードを楽しんでいました。

18時、北九州市職員有志による五平太ばやし「響」のお見送り演奏が響く中、暮れゆく夕日を浴びながら、次の港の境港へ向けて出港しました。



「オーバーション・オブ・ザ・シーズ」 全長：347.8m 総トン数：168,666 t



よさこいの出演者と記念撮影を楽しむクルーたち



岸壁ではロイ船長、北九州市長が参加した
歓迎記念式典を開催



船体上部のクレーンより地上を見渡せる遊具設備（展望カプセル）を
立ち上げながら出港しました。手前はお見送り演奏をする五平太ばやし「響」